

## 京都仏教会の会見に対するコメント(1999年5月8日)

京都仏教会さんから、京都市との関係改善に向けて話し合うとの報を頂き心から慶んでおります。

先般、京都仏教会さんには京都の将来のために何とか京都市と話し合い、お互いに歩み寄って頂けないものかと提案したところであり、この度のご英断に有馬理事長さんはじめ、京都仏教会の皆様方に心から有り難く厚く御礼申し上げます。早速に、京都仏教会さんと京都市の関係改善に向けた話し合いの場を持ちたいと思います。

昭和57年の古都保存税構想から17年間も続いた訳であり、まだまだ取り除くべき課題も多くあると思いますが、仲立ちさせて頂いた以上は、京都商工会議所会頭として、京都の発展を願う者として、また僧籍を持つ者として一生懸命、双方の関係改善に努めさせて頂きたいと思います。

今後、双方でいろいろな意見が出るとは思いますが、京都の活性化のために京都仏教会さんと京都市が歩み寄って頂き、21世紀の観光振興に相い協力することによって、国内外から高く評価される「世界観光都市・京都」が実現できることを願っております。

京都商工会議所  
会頭 稲盛和夫